

# 法政大学総合情報センターの概要

21世紀は高度情報化とコンピュータリゼーションの時代です。法政大学は、1997年度に高速性と安定性を兼ね備えた、私立大学では有数の高度情報ネットワーク・システムを整備しました。同時に、コンピュータやネットワーク・システムの利用環境を提供し、高度情報化に対応した教育・研究を支援するために、従来の計算センターを改組し、法政大学総合情報センターを設立しました。

SINET 経由の高速光回線によるインターネット接続は、学生・教職員の教育・研究に十分なネットワーク環境を提供しています。市ヶ谷、多摩、小金井の各キャンパス情報センターには、多数のパソコンを常備した情報実習室や自習用情報カフェテリアが設置され、情報処理の教育・研究が行われるとともに、電子メール (Gmail)、Google Apps、ファイル共有サービスなども利用できます。

学内のほとんどの箇所に設置された IEEE802.11n 対応の無線 LAN アクセスポイントにより、学生・教職員はパソコン、スマートフォン経由で容易にインターネットへアクセスできます。さらに、Web メール、VPN、レンタルサーバ、統合認証 ID によるシングルサインオンなど常にユーザの利便性を担保しつつ、安全性も十分考慮しています。

法政大学総合情報センターは、本学の教育・研究に必要な十分なネットワーク基盤を安定運用させるとともに、学生・教職員のユーザビリティの向上、セキュリティの確保、最新技術のキャッチアップと反映をめざし、さまざまな活動を展開していきます。



いつでもどこでもインターネット (市ヶ谷)



情報実習室 (多摩)



ネットワーク機器 (小金井)